

令和元年度10年経験者研修教科指導研修シラバス

小・中学校 図画工作・美術科 教科指導研修

※ 愛知教育大学会場へは公共交通機関を利用する。車での入構は許可しない。

1 研修日程

(研修者：小学校29人、中学校11人、高等学校0人 計40人)

期 日	時 間	研 修 内 容	会 場
第1日 7月26日 (金) 小・中・高 合同	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター多目的ホール>	総合教育センター 多目的ホール
	9:30~ 9:40	オリエンテーション	
	9:40~11:45	【協議：実践報告とよりよい授業づくりのための研究協議】 総合教育センター研究指導主事	
	11:45~12:45	休憩	
	12:45~16:20	【協議・演習：よりよい授業づくりのための研究協議と演習】 総合教育センター研究指導主事	
	16:20~16:30	教科指導研修の振り返り 諸連絡	
第2日 8月8日 (木) 小・中・高 合同	9:00~ 9:30	受付<愛知教育大学美術・技術・家政棟1階会議室>	愛知教育大学 美術・技術 ・家政棟 1階会議室他
	9:30~ 9:35	諸連絡	
	9:40~12:00	【講義・演習：資質能力を高めるための指導】 講師 大学准教授	
	12:00~13:00	休憩	
	13:00~16:20	【講義・演習：資質能力を高めるための指導】 講師 大学准教授	
	16:20~16:30	教科指導研修の振り返り 諸連絡	
第3日 8月22日 (木) 小・中・高 合同	9:30~ 9:40	受付<愛知県美術館>	愛知県美術館
	9:40~ 9:50	連絡・オリエンテーション	
	9:50~10:10	【講義：美術館における鑑賞教育の実際と学校との連携】 講師 愛知県美術館主任学芸員	
	10:10~11:00	【演習：美術館における鑑賞教育の実際①】 講師 中学校教諭	
	11:00~12:00	【演習：美術館における鑑賞教育の実際②】 講師 元小中学校教諭	
	12:00~13:00	休憩	
	13:00~16:10	【見学・演習：美術館と連携を図った鑑賞教育の実際と構想】 企画展示見学・学校教育プログラム体験実践 講師 愛知県美術館主任学芸員 講師 中学校教諭 総合教育センター研究指導主事	
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（アンケート記入） 諸連絡	

2 連絡事項（課題等）

<p>連絡事項 (課題等)</p>	<p>第1日</p>	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究協議において1人10分間程度の実践発表を行う。児童生徒の作品や写真等、発表に必要なものがあれば用意する。 <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 図画工作・美術科で育成する資質や能力と学習内容の関係を明確にするためには、「何をつくるのか」ではなく、「この題材を通してどのような力を育成するのか」を起点に、児童生徒の学習経験や能力、発達特性の実態を踏まえた学習の構築が重要である。 課題は、「<u>発達特性</u>」「<u>A表現とB鑑賞の関連付け</u>」「<u>[共通事項]</u>」を効果的に位置付けること」「<u>主体的・対話的で深い学び</u>」「<u>小中(中高)の連携</u>」のいずれかの視点を選び、学習計画や題材の中へ位置付けた授業の学習指導案及び実践報告とする。視点は複数選択可能。 授業で使用したワークシートがあれば、それも合わせて提出する。 第1日は、提出課題を基に全員が実践の発表を行い、グループで協議する。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題様式 章立ては、次頁課題様式を参照する。 ・提出期限 令和元年7月17日(水) 必着 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>令和元年度小・中学校（養護教諭・栄養教諭を含む）10年経験者研修要項では、小学校（図画工作）の提出期限が7月1日となっていますが令和元年7月17日（水）に訂正します。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・提出方法 郵送または持参 2部（当日持参42部）
	<p>第2日</p>	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れてもよい服装、靴（更衣用の別室あり。） <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし
	<p>第3日</p>	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし

3 課題様式（記入例）

学習指導案と実践報告

担当したことのある
校種・学年全てに○をうつ。
小低=1～3年 小高=4～6年
特支=特別支援学級・特別支援学校

令和元年度10年経験者研修 教科指導研修 図画工作・美術科

受講番号									※経験校種等（小低・小高・中・高・特支）
題材名	○○○○○○（○年）								
1 題材の目標	（章立ては左記のとおりとする）								
2 題材設定の理由	・「発達特性」「A表現とB鑑賞の関連付け」「[共通事項]を効果的に位置付けること」 「主体的・対話的で深い学び」「小中（中高）の連携」の中のどれを視点に設定したのかを明記する。								
3 学習計画									
4 本時の指導	個人情報の取り扱いに十分留意し、特に児童生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。								
(1) 目標									
(2) 指導過程									
(3) 評価									
5 実施報告 成果と課題									
(1) 本実践を通しての成果	・児童生徒の具体的な変容から成果を述べる。								
(2) 本実践の今後の課題	・児童生徒の活動等から課題として捉えたことを述べる。								

- (注) ・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。
・A4判縦長横書き。4枚以内（両面印刷2枚）に収める。左上をステープラーでとめる。
・文字数は、1行40から45文字程度、1ページ40から45行程度。
・ワークシート、写真資料等がある場合は別に添付する。

4 課題送付先

〒470-0151

愛知県東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部基本研修室（是枝 享子）宛て

※封筒の表左隅に「小・中学校10年経験者研修図画工作・美術科課題在中」と朱書きする。

5 問い合わせ先

担当 研修部基本研修室（是枝）

電話 0561-38-9507（ダイヤル）